事例No.	3048
公表年度	R6
団体の属性	一般市
団体名	福岡県直方市

事例区分	行政改革

タグ	・（行政改革）業務の効率化

事例種類	DX

事例内容・タイトル

バックヤード業務の効率的な処理事例

出典

持続可能な地方行財政のあり方に関する研究会（第1回）

バックヤード業務の効率的な処理事例

○　バックヤード業務については、これまで多くの団体で集約化して外部委託という手法がとられてきたが、デジタル技術を活用して複数の支所に配分し、効率化を図ろうとする試みが存在する。

福岡県直方市

取組概要

総務部門（人事・給与部門）における**ルーチン業務を集約・運営する部門（総務事務センター）を開設**し、当該センターに外部委託
外部委託に際し、**委託業務を洗い出し、事務処理マニュアル整備を実施**

効果

✓**年間約 3,400時間**の業務時間を削減
✓人財育成、給与適正化、ワークライフバランスの実現、労務管理等、**中核的業務等への優先的な取組みが可能**

■課題
総務部門においては、ルーチン業務に多くの人員・労力が割かれており、効果的な取組を行えていない

■解決策
総務事務センターを開設し、業務の集約化及び外部委託を行うことにより業務効率化を図る

東京都八王子市

取組概要

広い市域をカバーするため14支所を設置しているが、地理的条件、交通の便等の理由により、一部の事務所に手続件数が集中

手続件数が少ない事務所ではアイドルタイムが発生しているため、**マイナポータルを通じたオンラインによる転出届等の情報を申請管理システムに集約し、業務量等に応じて、各支所に審査業務を分散**する仕組みを構築

自治体フロントヤード改革モデルプロジェクトにより今後実証
主なKPI（～R8末）
①　業務時間　▲120,000時間　　②　バックヤード集約業務数　30業務

